

9月議会の一般質問

議員名	質問事項
大名美恵子	▼村長の所信表明▼村長の政治姿勢
武部 慎一	開▼東海村の公共交通手段 おける「いじめ対策」への対応▼委員会等の公開と事業情報の公開
照沼 昇	▼事業仕分けの実施▼自治会制度の方向性
豊島 寛一	▼液化化等災害復旧地の現状と地質情報等の情報の管理状況▼村のインフラ施設等の全体的中長期的計画を踏まえた都市計画の策定が必要▼東海村の除染実施状況▼教育委員会の考え方▼学校における「いじめ対策」への対応▼委員会等の公開と事業情報の公開▼東海村の公共交通手段
川崎 篤子	▼早期待機児童解消と保育の拡充▼敬老祝賀事業にかかる祝い金対象年齢の変更▼情報発信力の強化と役場の意識改革におよぼす秘密保護法案の危険性▼東海第二発電所からのお知らせ
岡崎 悟	▼地域経済の活性化▼情報発信力の強化▼公共施設の自動販売機カードの活用
河野 健一	▼観光振興
植木 伸寿	▼本村における動物愛護の取り組み▼認知症早期発見に向けた取り組み▼子ども会の現状と地域の関わり▼通学路に対する交通安全確保に向けた取り組み
相沢 一正	▼村長所信表明「真に豊かな街づくりの実現」▼村長所信表明「東海第二原発の再稼働について」▼東海村在住の福島避難者▼原子力安全協定
恵利 いつ	▼原発再稼働問題▼村民の叡智が生きるまちづくり▼障がい者、障がい者施設への仕事の提供▼婚活イベント「とうかい出逢い村」
川崎 和典	▼村松幼保一元化施設の建設地▼東海村地域防災計画▼原研通りで村松十文字へ原研前の照明
川崎 和典	▼村松幼保一元化施設の建設地▼東海村地域防災計画▼原研通りで村松十文字へ原研前の照明

※ を掲載



問 合併についての村の見解

答 合併の必要性はなく、独立独歩の方針である

新政会 舛井 文夫 議員

議員 消防やごみ処理が広域行政となり、合併の動きを心配する村民の声があるが、村の見解を伺う。

総合政策部長 平成の大合併により

現在44市町村となり、平成18年3月末に終了しており、村は単独での存続を決定した。村民からも合併を求める強い要望はない。各種の権限移譲を受けており、市と同等レベルの行政サービスが確立しており、財政運営の面からも、単独での行政運営が十分に可能であり、合併する合理的理由はない。財政や人材についても、村の有しているポテンシャル(潜在的可能性)を発揮すれば、合併の必要性は全くなく、持続可能なまちづくりを推進し、独立独歩の道を歩んでいく。

しても物理的に中心にはなり得ない。新村長の考えを伺う。

村長 選挙戦では触れなかったが、合併については、明確に「無い」と断言する。しかし広域行政については、今後も必要に応じ進めていく。

議員 全く同感であり、どこも合併



合併しないことを明確にした山田新村長

一般質問